

看護学専修 看護学の実践・教育・研究者(成人看護学) 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

健康課題をもつ人々に質の高い看護サービスを有効かつ適切に提供するのみならず、従来の看護を検証し、看護を発展される能力を有することが期待される。医療機関、臨床現場での実践と指導および教育・研究・研修期間における教育・研究、研修指導に携わる。

2年次

【専門科目】

看護学演習(成人看護)(2)

【特別研究】

看護学特別研究(10)

1年次

【共通必修科目】

IPW論(専門職連携実践論)(2)

【共通選択科目】

保健医療福祉概論(2)

保健医療福祉研究法特論(2)

保健医療福祉学際英語(2)

予防医科学特論(2)

【専門科目】

看護理論(2)

看護管理システム論(2)

基礎看護技術・看護工学(2)

成人看護援助論(2)

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

学士課程における看護学の基礎的科目全てを基盤とする。成人看護学領域で学ぶ場合、特に「成人看護学」における学習を活用し、人々の健康ニーズに高い倫理観をもった的確に対応するとともに、保険・医療・福祉等の多職種と連携してヘルスプロモーションを発展させるための基本的な能力を身に着けていることが望ましい。